



©2005 石塚真一小学館

第 330 号(令和6年(2024 年)2月 16 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ

特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～山岳遭難の現場から Mountain Rescue File No.2～

今回は、1月7日に中央アルプスの宝剣岳で発生した遭難を事例に、緊急時の対応や安全を優先した判断について考えていただきたいと思います。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html 長野県警察 山岳情報

<https://www.yamakei-online.com/yama-ya/detail.php?id=2998> 山と溪谷オンライン 編集・転載

<https://yamahack.com/6048> YAMA HACK 編集・転載

九州初 ～祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク 山のグレーディングを公開(お知らせ)～

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会では、エリアにある主要山岳 30 山 63 ルートの「山のグレーディング」を作成しました。

<https://sobokatamuki-br-council.org/>

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

2月2週は、2件の死亡遭難を含む、7件の山岳遭難が発生しました。

7件中5件は、八ヶ岳連峰で発生し、今シーズンの八ヶ岳連峰では、既に11件の遭難が発生し、うち3件は死亡遭難です。

冬季の八ヶ岳は、晴れていても稜線付近は強烈な風が吹き荒れます。このような条件の中で行動すると、低体温症による行動不能や視界不良による道迷いのリスクが高くなります。また、稜線に限らず、樹林帯の登山道も凍結箇所があるため、常に転倒や滑落の危険性があります。

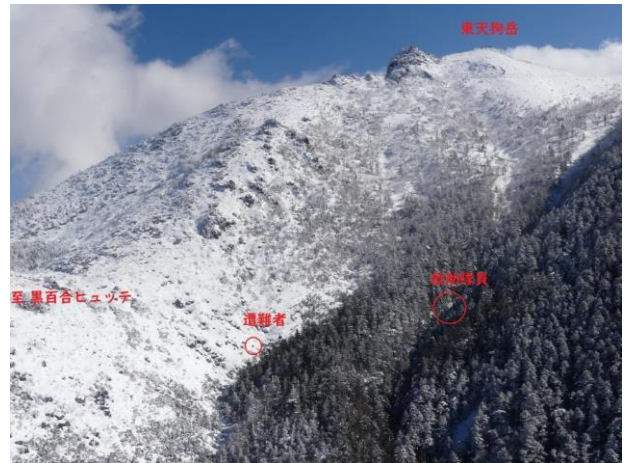
2週に発生した八ヶ岳連峰での遭難は、道迷いによるものがほとんどであり、いずれも日没間際まで行動していたところ、道に迷って行動不能となったものです。日没後の行動は、視界が狭まり、登山道の印や他の登山者のトレースが見えなくなり、行動に支障をきたし、そのまま行動不能となれば、ビバークせざるを得なくなります。ビバークする際に、寒さに耐えるための装備を携行していなければ、低体温に陥り、最悪の場合、命を落としかねません。また、冬山は積雪等により、無雪期よりも大幅に時間が掛かることを考慮し、早めの行動とゆとりを持った計画を心掛けてください。

道迷いにより、行動不能となれば、長時間寒さに耐えなければならない、ルート判断をしなければならないなど、通常の登山よりもリスクが高まります。特に冬山は、積雪で登山道が不明瞭となっていますので、こまめに地図等でルートや方向を確認し、道迷いを防ぎましょう。

バックカントリーエリアでも遭難が発生しています。今後、登山やバックカントリースキー・スノーボードに行かれる際には、計画している山域やルートには、どのような危険があるのか、過去にどんな遭難が発生しているのか、しっかりと下調べをして必要な準備を整えてから入山しましょう。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2月5日	八ヶ岳連峰 硫黄岳	男	59	死亡	不明	単独で硫黄岳付近を登山中、何らかの原因により行動不能
2月7日	竜王山	男	19	無事救出	道迷い	スキー場を滑走中、管理区域外へ迷い込み、行動不能
2月10日	八ヶ岳連峰 天狗岳	男	41	無事救出	道迷い	2人パーティで入山し、東天狗岳周辺を登山中、同行者と別行動中、道に迷い、行動不能
2月10日	八ヶ岳連峰 根石岳	男	64	死亡	疲労	単独で根石岳から本沢温泉に向けて下山中、疲労により、行動不能
2月10日	八ヶ岳連峰 天狗岳	男	59	無事救出	道迷い	単独で天狗岳から黒百合に向けて下山中、道に迷い、行動不能



2月12日	八ヶ岳連峰 雨池山	女	5	無事救出	疲労	5人パーティで入山し、雨池山付近を登山中、疲労等により、行動不能
2月12日	北安曇郡小 谷村地籍親 沢	女	55	無事救出	その他	3人パーティでバックカントリーを滑走中、技量不足により、行動不能
		男	57	無事救出	その他	
		男	54	無事救出	その他	



令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月12日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	26	6	0	4	21	31	10
内)バックカントリー	12	2		1	12	15	3
内)単独登山	8	2			6	8	2
令和5年(2023年)	27	5	2	11	17	35	18
前年同期比	-1	+1	-2	-7	+4	-4	-8
内)バックカントリー	+3	-1	-2	-1	+5	+1	-4
内)単独登山	-3	+1	±0	-4	±0	-3	-3

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月12日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	7	26.9%	2	0	1	6
	その他	1	3.8%	1	0	0	1
	計	8	30.8%	3	0	1	7
中央アルプス	1	3.8%	0	0	0	2	2
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	11	42.3%	3	0	3	5	11
その他の山岳	6	23.1%	0	0	0	7	7
計	26		6	0	4	21	31

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月12日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	2	7.7%	0	0	2	0	2
転倒	2	7.7%	0	0	2	0	2
病気	1	3.8%	0	0	0	1	1
道迷い	10	38.5%	0	0	0	12	12
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	7.7%	2	0	0	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	19.2%	2	0	0	3	5
不明・他	4	15.4%	2	0	0	4	6
計	26		6	0	4	21	31

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～2月12日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	1	1	7 30.4%	0	0	0	1	1	2 25.0%	2	9 29.0%
20代	0	0	1	2	3		0	0	0	1	1		4	
30代	1	0	0	2	3		0	0	0	0	0		3	
40代	2	0	0	4	6	14 60.9%	0	0	0	1	1	6 75.0%	7	20 64.5%
50代	2	0	0	6	8		0	0	3	2	5		13	
60代	1	0	0	1	2	2 8.7%	0	0	0	0	0	0 0.0%	2	2 6.5%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	6	0	1	16	23		0	0	3	5	8		31	
比率	74.2%						25.8%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。